

# 地域のかお シリーズ115



## AI 時代にあった新しい広北小を目指して

宮崎市立広瀬北小学校

校長 川越 和俊

本年度の異動により川南町立多賀小学校より赴任してまいりました「川越和俊」と申します。宮崎市での勤務は5年ぶり2度目となります。宮崎市に帰ってくるまでの5年間は、川南町の小学校で管理職の経験（修行）を積んでいました。

私が前回宮崎市で勤務したのは、7年前から2年間（平成30年度～令和元年度の2年間）で、なんと今勤務している広瀬北小学校でした。

7年前（平成30年度）は、日之影町立日之影小学校から赴任してきたので、児童数（当時628名）の多さに加え仕事量の多さに悪戦苦闘していたり、創立40周年記念式典も行われたりした年でもあるので毎日夜遅くまで先生方やPTAの方々と仕事をしていたことを思い出しました。また、令和元年度は、未知の病気と言われたコロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、卒業式もどうやってしていくべきか答えのない対応を迫られる状況で今後どうなるのだろうと不安でたまらなかった時期を過ごしたことを思い出しました。

今年で教職36年目を迎えますが、前回広瀬北小学校で勤務した2年間は、とても印象深く思い出の詰まった期間であったので、また校長として帰ってこられて感慨深い気持ちと縁を感じる学校となりました。

ここで現在の広瀬北小学校の紹介を簡単にしたいと思います。本校は、昭和54年4月1日に広瀬小学校より分離独立し、47年目を迎えました。現在の児童数は、573名（8月現在）で23学級ある大規模校です。7年前と比べると児童数は少なくなりましたが、児童数の減少数が少なく、今後も児童数500人台をキープするだろうと予想されています。

今年は、6月の代表委員会で子どもたちが決めた広北小学校のスローガン「みんな かがやけ！！ 笑顔 最高の広北」を立てて、広瀬北小学校を良い学校にしていこうと毎日の学校生活を楽しく過ごしています。

また、10年後、AIが人間社会に大きな影響を及ぼし予測のつかない激動の時代を経験するであろう子どもたちが、自分の生き方を見つめ、自分らしく生き抜くために「自ら問いをもち、その問いを解決するために自ら学習の仕方を選択・決定し、学びを深める力」を育てるために昨年度から「自由進度学習」という学習方法を取り入れ、授業改善を積極的に行っています。本年度は、さらに授業改善を行って指導法を確立していきたいと考えているところです。

さらに、学校の校時程を工夫したり教科担任制や複数担任制（1学級を複数の先生が指導する仕組）なども順次取り入れたりしながら、一人一人の子どもたちを大切に、その子にあった学びを深めていきたいと考えております。

そのためには、学校の教職員や保護者の力だけでは達成するのは難しいと思っています。今後、本校の教育活動を進めていくうえで、広北小校区地域づくり協議会の皆様をはじめ、様々なかたちで地域の力をお借りすることが多々あると思います。何かとお願いばかりすることが多いかと思いますが、子どもたちのために、どうぞお力をお貸しいただけるとありがたいです。

最後に、学校の情報はホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧いただけたら幸いです。

## くるくるマルシェ

★供出品提供のお願い★

11月8日(土)【旭町児童館フェスタ】にて、未就学児～小中学生までのおさがり市(くるくるマルシェ)を開催します。未使用品や「この服、あまり着なかったけど、誰かにあげたいな…」というような品物を募集しています！

### ・募集期間

10月1日(水)～11月6日(木)

午前10時～午後5時30分(日祝を除く)

### ・募集対象

未就学児～小中学生までの衣類、学用品など

※未使用なもの、または同程度のもの

※使用品は、持ち込み前に洗濯をお願いします。

### 【お持ち込みいただけないもの】

- ・ほつれ、破れ、汚れが著しい衣類やシューズ
- ・ぬいぐるみ ・本、雑誌
- ・おもちゃ、ゲーム など

ご協力、よろしく  
お願いします！

(※ご不明な点は  
旭町児童館まで)

